



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和3年3月第6回市長定例記者会見

- ・日時 令和3年3月29日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「第61回全群馬近代こけしコンクール」で
大野雄哉さんが群馬県知事賞を受賞しました(資料1)
- 2 伊香保温泉石段下広場(延伸部)の愛称を決定しました(資料2)
- 3 各種申請書における性別欄の見直しを進めます(資料3)
- 4 渋川市におけるLINEを利用した行政サービスの状況をお知らせします
(資料4)
- 5 生活困窮世帯支援対策として防災備蓄品(生理用品)の無償配布を行います
(資料5)
- 6 「道の駅こもち」において防災関連施設の相互利用が可能となりました(資料6)
- 7 JR渋川駅東側乗降場の供用を開始しました(資料7)

その他資料提供

- ・令和2年度ふるさと渋川学生奨励金の給付対象者を決定しました(資料8)

○次回開催予定

日時：令和3年4月5日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月29日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00 終了後	市長定例記者会見 (公財)渋川市まちづくり財団 理事長記者会見	記者会見室 記者会見室	秘書室 まちづくり財団
	15:30	渋川商工会議所からの要望に対する回答書提出	渋川商工会議所	商工振興課
3月30日(火)	10:00	令和3年第2回市議会臨時会	議場	議会事務局
3月31日(水)	8:15 終了後	東京2020オリンピック聖火リレー出発式 (公財)渋川市まちづくり財団辞令交付	石段下延伸広場 市民会館	政策創造課 まちづくり財団
	10:30	市退職者辞令交付	大会議室	人事課
	11:00	広域組合退職者辞令交付	第1会議室	広域組合
4月1日(木)	17:00	子持産業振興(株)取締役会	子持行政センター	農林課
	8:30	(公財)渋川市まちづくり財団辞令交付	市民会館	まちづくり財団
	8:45	広域組合辞令交付	市長室	広域組合
	9:00	市辞令交付	大会議室	人事課
	10:00	新規採用職員辞令交付	大会議室	人事課
	16:30	庁議	庁議室	秘書室
	19:00	市消防団辞令交付式	大会議室	危機管理室
4月2日(金)	13:30	令和2年度ふるさと渋川学生奨励金授与式	記者会見室	教育総務課
4月3日(土)	10:00	第7回桜まつり	小野池あじさい公園	都市政策課
	10:00	榛名ミーティング2021	渋川スカイランドパーク	観光課
4月4日(日)				
4月5日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	16:00	渋川広域消防新規採用職員あいさつ来庁	記者会見室	消防本部

資料1

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

「第61回全群馬近代こけしコンクール」で 大野雄哉さんが群馬県知事賞を受賞しました

「第61回全群馬近代こけしコンクール審査会」において、本市の地域おこし協力隊として創作こけし産業の後継者を目指して活動している大野雄哉さんが、創作こけしの部で「群馬県知事賞」、新型こけしの部で「前橋市長賞」、木地玩具の部で「群馬県知事賞」を受賞しました。

1 概 要

令和3年2月5日(金)に群馬県庁で行われた「第61回全群馬近代こけしコンクール審査会」において、本市の創作こけし産業の後継者として創作こけしの制作活動に取り組んでいる地域おこし協力隊員の大野雄哉さんが、創作こけしの部で「群馬県知事賞」、新型こけしの部で「前橋市長賞」、木地玩具の部で「群馬県知事賞」を受賞しました。

2 受賞内容

- (1) 第1部：創作こけしの部（一品作で未発表作品）
群馬県知事賞 作品名「ある日の夢」
- (2) 第2部：新型こけしの部（市場性のあるもの）
前橋市長賞 作品名「猫旅」
- (3) 第3部：木地玩具の部（ロクロ技術を主体とした玩具）
群馬県知事賞 作品名「クジラメモスタンド」

3 出品数及び受賞作品数

- (1) 第1部：創作こけしの部＝79作品（うち受賞作品数19作品）
- (2) 第2部：新型こけしの部＝142作品（うち受賞作品数15作品）
- (3) 第3部：木地玩具の部＝44作品（うち受賞作品数1作品）
- (4) 第4部：一般の部＝23作品（うち受賞作品数3作品）

4 大野雄哉さんのプロフィール

- (1) 氏 名 大野 雄哉（おおの ゆうや）
- (2) 年 齢 34歳
- (3) 出身地 東京都板橋区
- (4) 着任日 令和元年9月2日

5 表 彰

令和3年3月19日（金）に群馬県昭和庁舎3階「正庁の間」で表彰式が行われ、大野さんが表彰状を授与されました。



6 そ の 他

大野さんは、創作こけし分野の後継者育成及び魅力発信等を目的に、令和元年9月2日に渋川市地域おこし協力隊員として委嘱を受け、創作こけし制作に係る技術及び知識の習得等に取り組んでいます。委嘱後は、市と創作こけし産業の継続と発展に資することに関する協力協定を締結している渋川こけし人形会の会員の工房で基礎を学び、現在は、渋川駅前プラザ2階のこけしギャラリーで制作活動をしており、インターネット等で自身の作品の販売も行っています。

参考

○地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。

○全群馬近代こけしコンクールとは

群馬県の誇る近代こけしを一堂に集め、その魅力を広く紹介し、近代こけし産業の振興発展に寄与することを目的として昭和34年から開催されている。

○渋川こけし人形会とは

渋川市、吉岡町、榛東村のこけし作家及び木地師で構成する団体。会員数22名（令和2年11月現在）。「全国創作こけし美術展 in 渋川」や各種行事等への参加協力、会員間の情報交換及びこけし業界の発展に寄与することを目的に平成18年7月に設立された。

渋川市とは、令和元年6月21日に、地場産業の活性化と地域ブランドの向上を目的として、創作こけし産業の継続と発展に資することに関する協力協定を締結し、渋川駅前プラザ2階の渋川創作こけしギャラリーの運営のほか、後継者育成や創作こけしに係る情報発信を行っている。

第61回全群馬近代こけしコンクール
大野雄哉さんの受賞作品



第1部 創作こけしの部（一品作で未発表作品）

群馬県知事賞 作品名「ある日の夢」

※この作品は、現在、渋川駅前プラザ内の渋川創作こけしギャラリーに展示されています。



第2部 新型こけしの部（市場性のあるもの）

前橋市長賞 作品名「猫旅」



第3部 木地玩具の部（ロクロ技術を主体とした玩具）

群馬県知事賞 作品名「クジラメモスタンド」

資料2

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

伊香保温泉石段下広場（延伸部）の愛称を決定しました

東京2020オリンピック聖火リレーの出発式が伊香保温泉で行われることを記念し、後世へ語り継ぐ遺産とするため募集していた、伊香保温泉石段下広場（延伸部）の愛称が「だんだん広場」に決定しました。

1 趣 旨

渋川市は、東京2020オリンピック聖火リレーの出発式が伊香保温泉で行われることを記念し、後世へ語り継ぐ遺産とするため、出発式の会場となる伊香保温泉石段下広場（延伸部）の愛称を公募しました。

東京2020オリンピック大会の延期によって選考の中断をしていましたが、このたび、二次選考を経て愛称を決定しました。

2 愛 称

「だんだん広場」

説明：石段を「だんだん」登っていく感じだったり、聖火が会場に「だんだん」近づいていくワクワク感を出しました。また、「暖暖」のように感じ次第で親しみも得られます。そして一番は、広場で人と人とが関わることで「だんだん」仲良くなり、人の繋がりが広がっていくことを願って、この名称にしました。

3 使用方法

令和3年3月31日(水)に行われる、東京2020オリンピック聖火リレーの出発式で公表し、使用を開始します。

また、設置予定の聖火リレー記念モニュメントにこのことを記します。

4 賞及び副賞

採用された方には、賞状と副賞として伊香保温泉旅行券5万円分を贈呈します。

なお、贈呈方法については、採用者と協議のうえ決定します。

5 選考経過

(1) 募 集：令和2年1月7日～2月7日

(2) 応募総数：435件

(3) 一次選考：「大会ブランド保護基準」等に抵触するものを除外し、市幹部職員が上位26作品を選考

(4) 二次選考：一次選考で選ばれた作品を、市長、渋川伊香保温泉観光協会長、渋川市自治会連合会長、伊香保地区自治会連合会長により選考し決定

資料3

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

各種申請書等における性別欄の見直しを進めます

渋川市では、「共生社会実現のまち 渋川市」の一環として、からだの性と心の性とが合致していない性的マイノリティの方が抱える性別欄に関する課題を解消するため、各種申請書等における性別欄の見直しを進めます。

なお、新たに申請書・通知書等を作成する場合においては、性別欄の必要性について、十分検討します。

1 概要

共生社会を実現するためには、からだの性と心の性とが合致していない性的マイノリティの方に対する配慮が必要であり、「性別欄にどちらの性別を書けばよいか悩む」「戸籍上の性別を周囲に知られたくない」など、性別欄に関する課題を解消することが必要です。

本市においては、各種申請書等における性別欄の見直しを検討するため、性別欄の記載状況について、各所属に調査（令和3年3月）を行いました。

調査の結果を踏まえ、性別欄を廃止可と判断したもののうち、市の条例、規則又は要領等で性別欄を根拠としているもの及び特に明確な根拠がない申請書等90件について、性別欄を廃止するように見直しを進めることにしました。

2 見直しの方針

- (1) 本市が取り扱うすべての性別欄のある申請書・通知書等について、性別欄の削除を検討し、不必要な性別欄は削除します。
- (2) 新たに申請書・通知書等を作成する場合においては、性別欄の必要性について十分検討します。

3 見直しの対象

性別欄を廃止可と判断したもののうち、市の条例、規則又は要領等で性別欄を根拠としているもの及び特に明確な根拠がないもの
〈主なもの〉

- ・通称の住民票への記載・削除・変更申出書
- ・日常生活用具給付申請書
- ・介護者用車両購入費補助申請書
- ・高等職業訓練促進給付金等支給申請書 など

4 見直しの対象外

- (1) 国又は県の法令によるもの
- (2) 性別欄が必要と判断されているもの

5 実施時期 令和3年4月1日(木)から順次進めていきます。

参考

性別欄記載状況調査結果

性別欄のある申請書等の件数＝262件	
件数	備考
90件	担当所属の判断で、現時点で見直し可能と判断されるもの （再調査該当）
30件	国の法令等の改正があれば見直しに向けて取り組めるもの
142件	性別欄が必要であるもの

資料4

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-25-8414 内線2420

渋川市におけるLINEを利用した行政サービスの 状況をお知らせします

LINE株式会社が提供するコミュニケーションアプリ「LINE」における個人情報の閲覧に関する報道を受け、渋川市におけるLINEを利用した行政サービスの状況を取りまとめましたので、今後の対応と併せてお知らせします。

1 利用状況

(1) 市公式LINEアカウント（情報発信・自動応答機能）

ア 概要

- ・市が開催するイベントや観光情報、防災情報、市政情報などの情報を発信
 - ・利用者が入力したメッセージに対する回答をあらかじめ設定しておくことで、特定のメッセージに対する返答を自動で発信
- ※機能を活用することで、簡単な問い合わせには24時間対応が可能

イ 利用者数 420件（令和3年3月24日現在）

(2) 市公式LINEアカウント（マイナンバーカード交付）

ア 概要

- ・マイナンバーカード交付に関する来庁予約を受付

イ 利用者数 0件（令和3年4月1日から開始）

(3) LINE Payによるキャッシュレス決済サービス

ア 概要

- ・窓口における手数料の支払いに、LINE Payによるキャッシュレス決済での支払いが可能

イ 利用者数 0件（令和3年3月24日現在）

※令和3年3月15日から試験運用開始

(4) LINE WORKS（ビジネス版LINE）

ア 概要

- ・庁内において業務用iPadと業務用パソコンとの情報共有手段として利用

イ 各所属用アカウント数 72件

(5) 青少年相談

ア 概要

- ・青少年が悩みや不安を身近な手段であるLINEで相談できる場所として実施
- また、LINE相談から電話や面接相談に繋ぐ手段として利用

イ 利用者数 21件

2 今後の対応について

現時点において不正アクセスや情報漏洩が発生したことは確認されておらず、また利用に当たり個人情報を取り扱った行政サービスではないことなどから、継続して利用することとします。

3 その他

安全性について、引き続き状況を注視しながら適切に対応していきます。

資料5

担当：福祉部地域包括ケア課 課長 遠藤 成宏 電話0279-22-2250 内線1210
危機管理室 室長 斉藤 章吉 電話0279-22-2130 内線2180

生活困窮世帯支援対策として防災備蓄品（生理用品）の 無償配布を行います

コロナ禍によって困窮する女性の支援策として、災害時用に備蓄している生理用品を希望者に無償配布します。配布は、令和3年4月1日(木)から、市内2か所の生活困窮者相談窓口で行います。

1 目 的

新型コロナウイルス禍における、市内の生活困窮世帯の女性への支援対策として、災害時用に備蓄している生理用品を希望者へ無償配布することで、経済的な負担の軽減を図るものです。

2 概 要

本市では災害時、避難所を開設した際、女性避難者に対し配布するため生理用品の備蓄を行なっています。この備蓄品を活用し、生活困窮世帯の希望する女性へ配布するものです。

3 対 象 者 女性のいる生活困窮世帯

4 配布個数 156セット（無償配布）

5 配布場所 生活困窮者相談窓口
①渋川市役所本庁舎 地域包括ケア課（管理係）
②渋川市社会福祉協議会

6 配布期間 令和3年4月1日(木)から配布個数終了まで

7 配布時間 平日の午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日は行いません

8 配布方法

配布場所の窓口に来ていただき、窓口を設置する案内ボードを指差していただければ、対象者が言葉を発しなくても、係員が対象物をお渡しします。

※配布は、窓口に来られた方、1人1セットとします

※配布個数に達した場合は終了

9 周知方法 広報しぶかわ4月1日号に記事を掲載します

〈新型コロナウイルス対策支援〉

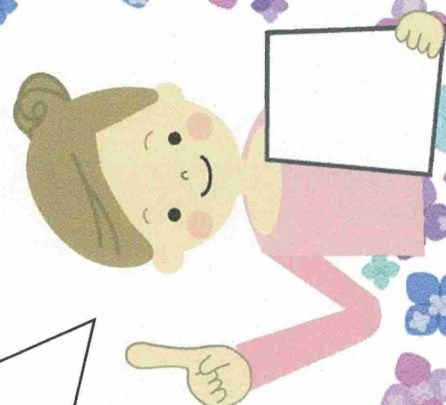
お困りのかたに 生理用品をお渡ししています

窓口でこのボードを指さしていただければ
生理用品をお渡しします。

声に出さなくても大丈夫です。お名前や住所など個人情報はお聞きしません。

生理用品は毎月使うもの。でも大変・・・。
コロナ禍も長引き、さまざまなお事情で、
生理用品のご用意が大変なかたが増えています。
渋川市では、必要なかたに生理用品をお配りしています。

数に限りがあるため、なくなり次第終了となります



渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



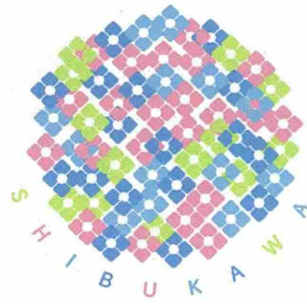
共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市



共生社会実現のまち
渋川市

資料6

担当：産業観光部農林課 課長 飯塚 裕 電話0279-22-2593 内線4971

「道の駅こもち」において防災関連施設の相互利用が可能となりました

道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路情報や観光情報などの「情報発信機能」、地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」の役割があります。

また、災害時には、防災機能としての役割も担っており、そのための防災関連施設の相互利用を可能とする覚書を締結しました。

1 趣 旨

国道交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所（以下「高崎河川国道事務所という。」）が災害時の「道の駅こもち」における防災拠点を見据えて、平成28年度から防災関連施設の整備を進めてきましたが、このたび高崎河川国道事務所による整備が整い、施設の運用が可能となりました。

これを受け、災害時において、道の駅管理者（渋川市）及び道路管理者（高崎河川国道事務所）の判断で防災関連施設の相互利用を可能とする覚書を令和3年3月11日に取り交わしました。

2 相互利用が可能となった防災施設

- ・非常用便槽
- ・災害用トイレ
- ・可搬式照明器
- ・発動発電機
- ・備蓄倉庫

3 内 容

この覚書の締結により、市は防災施設の利用が必要になった場合は、高崎河川国道事務所に連絡することにより防災施設を設置、利用することができ、また備蓄倉庫に避難住民及び道路利用者を支援するための支援用資機材を格納することができます。

なお、災害時に迅速に対応できるよう渋川市と高崎河川国道事務所合同による防災施設の設営訓練を年1回以上実施します。

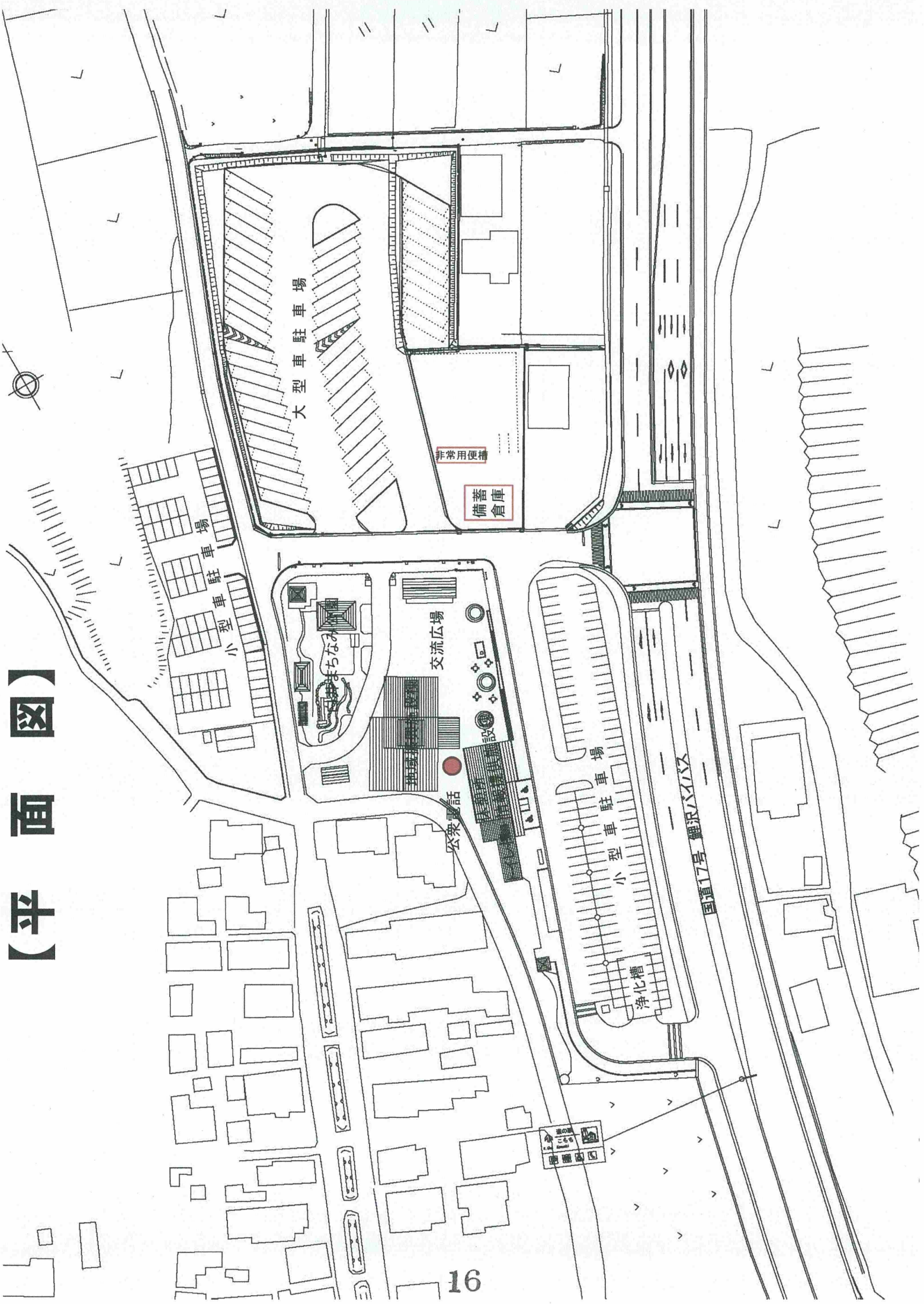
4 そ の 他

NTT東日本の協力により、災害等緊急時における有効な通信手段として公衆電話を道の駅こもち（白井宿ふるさと物産館入口付近）に新たに設置しました。

※公衆電話は、社会生活上の安全や戸外での最低限の通信手段確保の観点から、市街地はおおむね500平方mに1台以上、その他の地域はおおむね1平方kmに1台以上設置することを義務付けています。

また、災害時には、携帯電話はつながりにくいため公衆電話が有効な通信手段として重要な役割を担っています。

【平面図】





非常用便槽



備蓄倉庫（可搬式照明、発電機）

資料 7

担当：建設交通部都市政策課 課長 松田 忠義 電話0279-22-2073 内線4790

J R 渋川駅東側乗降場の供用を開始しました

J R 渋川駅東側の鉄道利用者の利便性の向上を図ることを目的として、東側乗降場（6台）を整備し、令和3年3月24日（水）から供用開始しました。

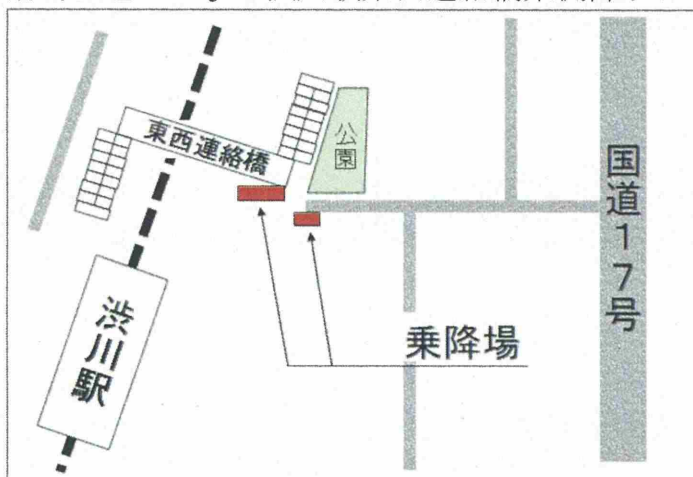
1 目 的

J R 渋川駅東側の鉄道利用者の利便性の向上を図ることを目的として、東側乗降場を整備しました。この整備により、赤城、北橘方面からの送迎車両の利用促進を図ります。

2 内 容

J R 渋川駅東側に乗降場を設置し、令和3年3月24日（水）から供用開始しました。
乗降場は J R 渋川駅における鉄道利用者の利便性の向上を図ることを目的として整備されました。

3 所 在 地 J R 渋川駅東西連絡橋東側降り口下



4 利用案内

- (1) 利用形態 乗降場
- (2) 駐車区画 6台



資料8

担当：教育部教育総務課 課長 真下 彰文 電話0279-22-2076 内線4940

令和2年度ふるさと渋川学生奨励金の給付対象者を決定しました

1 概 要

「ふるさと渋川学生奨励金」は、渋川市独自の制度として渋川市こども夢基金を財源として活用し、奨励金を給付することにより、将来、渋川市に貢献しようとする志のある人材の夢の実現を奨励し、支援するものです。

この奨励金は、応募者が「将来渋川市のためにどのように貢献したいか」を記載した提案書を提出し、選考委員会による審査を経て、給付対象者を決定します。

令和2年度は1名の応募者があり、令和2年12月に一次選考、令和3年2月に二次選考を実施し、給付対象者を決定しました。

2 令和2年度給付対象者

- (1) 給付対象者 君島誠一氏（大学生）
- (2) 提案書のテーマ 「ロシア人観光客誘致に関する提案書」
- (3) 提案書の概要 大学で学んでいるロシア語を生かし、伊香保温泉や創作こけしを資源とした渋川市の魅力などの情報を発信し、ロシア人観光客増加につながるよう渋川市へ貢献したい。
- (4) 奨励金の金額 10万円

3 奨励金授与式

- (1) 日 時 令和3年4月2日(金) 午後1時30分から
- (2) 場 所 市役所本庁舎2階 記者会見室

4 令和3年度の募集について

令和3年4月から、令和3年度ふるさと渋川学生奨励金の給付希望者を募集します。

- (1) 奨励金の額 10万円（1人1回を限度とし、返済の必要はありません）
- (2) 応募者の要件
 - ア 渋川市に住所を有し、応募時に高等学校、中等教育学校（後期課程に限る）、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（高等課程又は専門課程に限る）又はこれに準ずる学校に在学する者
 - イ 過去に渋川市に1年以上住所を有していたことがあり、かつ、応募時にアに示す学校に在学する者
 - ウ 渋川市内にある県立の高等学校又はこれに準ずる学校に在学する者
 - エ 渋川市内にある県立の高等学校又はこれに準ずる学校を卒業し、応募時に大学、短期大学、高等専門学校、専修学校又はこれに準ずる学校に在学する者

(3) 応募書類

ア 申請用紙

イ 提案書（1,200字程度。自分自身が将来、渋川市のためにどのようなことを、どのような形で貢献したいと考えているかを述べるもの）

(4) 応募方法 応募書類を持参又は郵送で教育総務課へ提出

(5) 選考内容

ア 提案書の内容により一次選考を実施します。二次選考では、一次選考を通過した応募者によるプレゼンテーションを公開で実施します。

イ 二次選考対象者は、必要に応じて書類を提出する必要があります。（住民票の写し、在学証明書、卒業証明書及び過去に渋川市に1年以上住所を有していたことを証明する書類等）

5 令和3年度の募集スケジュール

(1) 募集期間 令和3年4月15日(木)～8月31日(火)

(2) 一次選考 令和3年9月

(3) 二次選考 令和3年10月（予定）

(4) 給付対象者の決定と結果通知 令和3年11月（予定）